

厳しい財政運営 どう復興に取り組むのか

3月定例会 質疑

3月定例会の質疑では、今後の復興への考え方や取り組み方など、議員からさまざまな意見や要望が出されました。その中の一部を紹介します。

仮設住宅の現状は

北郷幹夫議員

仮設住宅管理費が減額補正されているが、常磐仮設住宅はきれいになっていったが、中央台とか四倉とか何カ所に分かれてあったが、現状はどうなっているのか伺いたい。

鯨岡環境防災課長

中央台高久第2、第3、第7鹿島は昨年10月に、四倉工業団地は11月、常磐は3月に撤去を完了しており、高久第4と四倉鬼越は特定延長者の関係で3月末まで、町内の46戸については平成30年度に撤去します。

東京電力への賠償金の請求は

阿部憲一議員

東京電力に対する賠償金の請求額の合計と、支払いを受けた賠償金額はいくらになっているのか。また、町有地の汚染の賠償の請求をなぜ町はしないのか。

大和田総務課長

約4億円を請求し、約2億1千万円を賠償金として受け取っています。また、示された内容に基づき賠償可能な内容についてのみ請求しており、各自治体の内容を精査し対応していきたいと考えています。

災害援護資金の実態は

小磯利雄議員

民生費貸付金が減額補正となっているが、返還の状況は。また、災害援護資金の滞納が多いと報道があったが、本町の状況は。

松本健康福祉課長

民生費貸付金は、震災後1人あたり5万円を貸し出し、42人が未返還で、毎年催告書を送付し支払い催告をしています。災害援助資金は、5人に貸し出し、1人が全額償還、3人が償還中、1人が31年度から36年度で償還をすることになっていますので、当町には滞納者はいません。

二ツ沼総合公園の方向性は

塩 史子議員

二ツ沼公園にあったレストランが2月いっぱいまで閉鎖しました。これから二ツ沼公園をどうしていくか検討が行われますが、町としてあの公園をどのようにしていくのですか。

中津復興企画課長

公園の利活用、人を呼び込むような施設利用を図るため、宿泊施設のPRやハウスの利活用、自主電源関係の自給自足を行った電気代の節約等、様々な意見を聞きながら、議論をして、多くの方にご来場いただける公園にしていきたいと考えています。



二ツ沼総合公園



広長住宅跡地

公共施設の土地借り上げ料解消の努力を

渡邊正俊議員

財産管理費の賃借料については、町内には集会施設など数多くの公共物があり、長年敷地の借り上げ料等が発生しているものが数多くありますが、借地の借り上げ料の解消に向けた努力をされているのか。

大和田総務課長

集会所等施設の町で借り上げしている土地については、借りている土地の利用効果について検証は必要であると思っており、借地として借りるかどうかの判断を、今後検討していきたいと考えています。

デマンドバス導入の検討は

門馬 巧議員

町民バスについて非常に使い勝手が悪い、或いはもつたいない等の意見があるかと思うが、以前私が提案したデマンドバスの導入を将来に向けて考慮することはできないか。また、導入には予想だにしない経費がかかると思われるが、導入を図った自治体の経費等を調査した経緯はありますか。

大和田総務課長

町民バスの使い勝手については、町民からも電話をいただいております、内容を踏まえ時刻表の改正等を行いました。また、導入した自治体に調査したところ、現在の町民バスの約3倍の経費がかかっているため、財政的に厳しいことから、導入については見送りたいと考えています。



町民バス